

第80回国民スポーツ大会青森市準備委員会設立趣意書

国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにすることを目的として開催されます。

本県においては、昭和52年に「心ゆたかに 力たくましく」をスローガンに第32回大会「あすなろ国体」が開催され、本市では夏季・秋季の総合開・閉会式をはじめ、9競技を14会場で運営し、これを成功に導いた貴重な体験と教訓は、その後の本市のスポーツの普及・振興や市勢発展の礎となりました。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会や北京2022冬季オリンピック・パラリンピック競技大会の開催により、国民のスポーツに対する機運が高まる中、令和8年に国内最大のスポーツの祭典である国民スポーツ大会が49年ぶりに本県で開催されることが内定しており、本市において多くの競技が開催されることは、市民のスポーツへの関心を更に高め、誰もがスポーツに親しめる環境づくりの推進とともに、スポーツを通じた交流人口拡大による地域の活性化に大きく寄与するものと期待されます。

また、開催市として、各都道府県の選手団や大会関係者など本市を訪れる全ての方々に温かくお迎えし、八甲田連峰や陸奥湾などに代表される美しい自然、日本を代表する火祭り「青森ねぶた祭」、世界遺産登録された三内丸山遺跡や小牧野遺跡をはじめとした縄文遺跡群などの歴史・文化、さらにはりんご・カシス・ホタテなどの豊富な食材などに触れていただくことは、本市の多彩な魅力を全国に発信する絶好の機会であります。

さらに、大会開催に向けて市民や関係団体、行政などが一体となって取り組んでいくことは、相互の連帯感や郷土意識を高め、本市の将来都市像である「市民一人ひとりが挑戦する街」に向けて極めて有意義なものになると期待されます。

このような意義ある大会を成功に導くために、市民・各種関係団体・行政からなる「第80回国民スポーツ大会青森市準備委員会」を設立し、青森市民の総力を結集して所期の目的を達成しようとするものであります。

令和4年3月29日